

## 学会通信 (二〇一一年九月、二〇一二年一月)

### ◎学会員活動

- 阿部宏忠 「消費市場としての中国」(講演、愛知大学特別講座、二〇一一年一〇月二六日)、「中国ビジネス最新事情」(講演)設立四〇周年記念フォーラム(勸あいち産業振興機構主催、二〇一一年一月三〇日)、「震災・原発事故による日本産農林水産物等輸出への影響」(発表、農業機械学会関東支部主催、二〇一一年二月六日)
- 川村亜樹 『英字新聞「日経ウィークリー」活用法2』(共著、大学教育出版、二〇一一年二月)、『ヒップホップの政治学―若者文化によるアメリカの再生』(単著、大学教育出版、二〇一二年一月)
- 黄英哲 『許寿裳遺稿』全四卷(共編、福建教育出版社、二〇一一年九月)、『許寿裳与台湾』(「光復初期台湾的社会与文化」福建教育出版社、二〇一一年九月)
- 高明潔 「中国における多言語共生の現状に關する考察」(研究発表、国立民族学博物館共同研究「中国における社会と文化の再構成―グローカリゼーションの視点から―」研究会、二〇一一年一〇月二二日)、「西部大開発における開発援助關係に関する試論

―蜜夏・内モンゴルを例として」(「愛知大学国際問題研究所紀要」第一三八号、二〇一一年一〇月)

- 薛鳴 「在日中国人子女の言語使用意識とエスニシティーある中華学校でのアンケート調査から」(共著、『言語と文化』第二六号、愛知大学語学教育研究室紀要、二〇一二年一月)、「敬語コミュニケーションを阻害する文化的な違いについて―日中の考え方・習慣・社会のあり方の相違―(学会発表、二〇一一年世界日本語教育研究大会、於中国天津外国语学院、二〇一一年八月二二日)
- 砂山幸雄 『世界冷戦のなかの選択』(責任編集、『新編 原典中国近代思想史』第六卷、岩波書店、二〇一一年一〇月)、「読賀桂梅『文化自覚と新世紀之交的“中国”叙述』」(「東大研国際シンポジウム「中国アイデンティティの模索」於東京大学東洋文化研究所、二〇一一年二月一八日)
- 唐燕霞 「中国的勞使關係と進出日系企業の課題」(白木三秀編著『チェンジング・チャイナの人的資源管理』白桃書房、二〇一一年一〇月)、「グローバリゼーションにおける格差社会の構造」(報告、「転形期における中国と日本―その苦悩と展望―」国際シンポジウム、北京大学国際關係学院・島根県立大学合同国際シンポジウム、於島根県立大学、二〇一一年一〇月二二日)、「格

差が拡大しつつある中国社会の行方」(公開講座、於愛知大学車道校舎、二〇一二年一月二日)

馬場毅 「上海にあった東亜同文書院について」(講演、於富山国際会議場、二〇一一年九月一七日)、「並木頼寿著「檢軍と華北社会―近代中国における民衆反乱」(書評、『中国研究月報』二〇一一年一月号)、「辛亥革命と東亜同文会」(報告、愛知大学東亜同文書院大学記念センター国際シンポジウム「辛亥革命・孫文・東亜同文会」、於愛知大学豊橋校舎、二〇一一年一月二二日)

樋泉克夫 「東南アジアに拡大する中国」(講演、愛知大学現代中国学部提供講座、二〇一一年一月三〇日)、「東南アジアの部屋」(雑誌連載、『Foreigner』(電子版)新潮社)、「華人企業家の夢と野望」(雑誌連載、『Asia Market Review』重化学工業通信社)

松岡正子 「汶川地震後におけるチャン文化の復興と禹羌文化の創出」(瀬川昌久編『近現代中国における民族認識の人類学』二〇一二年一月)、「中国式復興モデル―二〇〇八・五・一一汶川地震から三年」(季刊『民族学』一三八号、二〇一一年)